

食支援通信

Vol. 9

食支援研究会

テーマ

口腔ケア用具について

介助で行う口腔ケアのポイント

- 本人の体調を確認し、無理に行わないようにしましょう。
- ブラシは強く押し付けず、優しく小刻みに動かしましょう。
舌も舌ブラシで磨きましょう。
- 口腔内が乾燥しているときは、保湿剤を使用してケアしましょう。
ケア後も乾燥予防のために、保湿剤を使用すると良いでしょう。
- ケア中は“むせ込み”に注意し、必要があれば吸引装置を使用しましょう。



口腔ケア用具の基本

歯ブラシ(介助用) ・コンパクトヘッド・柔らかめの毛が安全
・柄が太く軽いタイプは介助しやすい
・交換目安：1か月に1本



スポンジブラシ ・歯磨きが難しい方の粘膜清掃に使用
・保湿剤や水分を含ませて使用
・使い捨てが衛生的



口腔保湿剤 ・口の乾燥を防ぎ、痛みや粘膜のトラブルを予防
・ジェルタイプやスプレータイプがあります

口腔ケア用

ウェットシート ・口腔内の汚れをふき取るシート
・うがいが難しい方にも使用可



吸引装置(必要な場合) ・うがいが困難な方の口腔ケアで使用

入れ歯ケア用品 ・入れ歯用ブラシ
・洗浄剤やケース



口腔ケアは、誤嚥性肺炎の予防や生活の質の向上に欠かせないケアです。適切な介助と継続的なサポートによって、安全で快適に日々を過ごせるように努めていきましょう。

歯科衛生士 五島

掲示許可シール
貼付スペース